

今冬の取組について

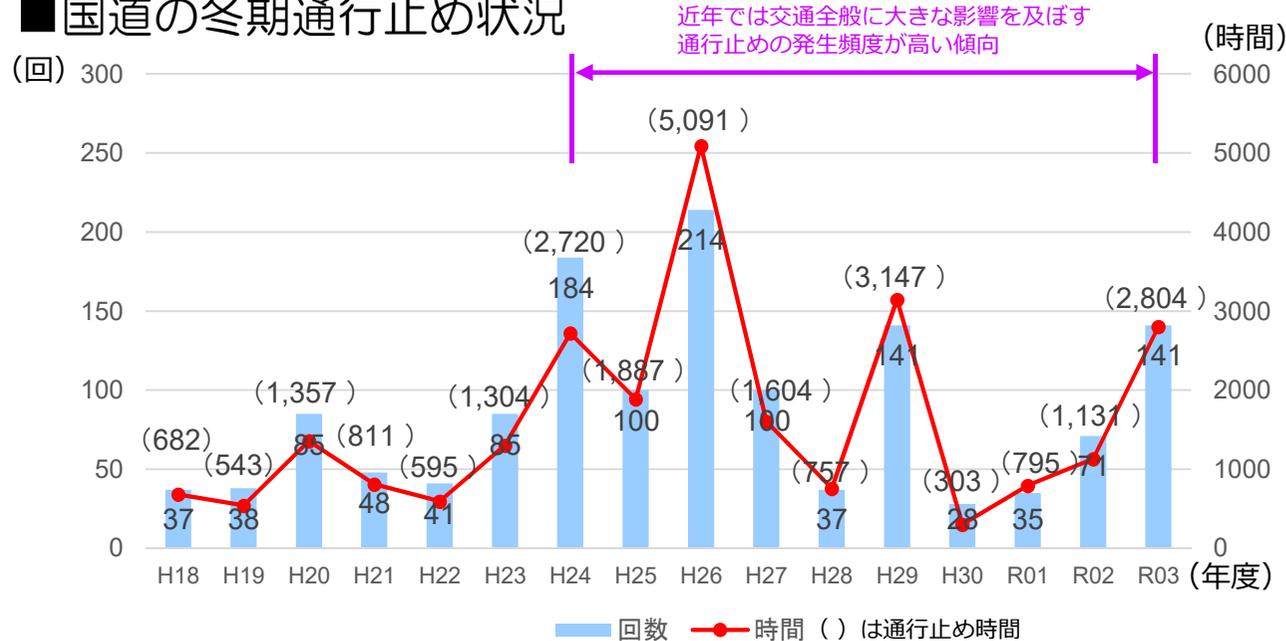


1. 北海道における冬期の状況

◆北海道の国道における冬期の状況

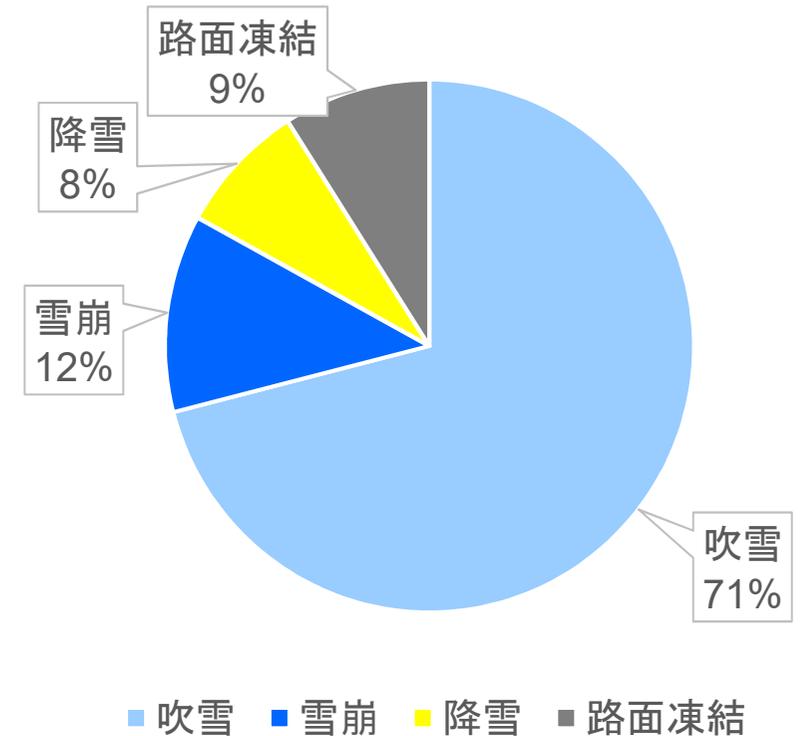
- 積雪寒冷地特有の冬期災害が発生する北海道では、大雪や暴風雪などの影響による国道の冬期間の通行止めが多く発生。
- 令和3年度は、発達した低気圧の影響により、北海道の広い範囲で暴風雪に見舞われ、国道では複数路線、区間で通行止めとなり、数日間にわたり交通全般に大きな影響を及ぼした。

■国道の冬期通行止め状況



■冬期通行止め要因

(平成24年度～令和3年度)



大雪に伴う除雪状況
(国道453号千歳市) 令和4年1月



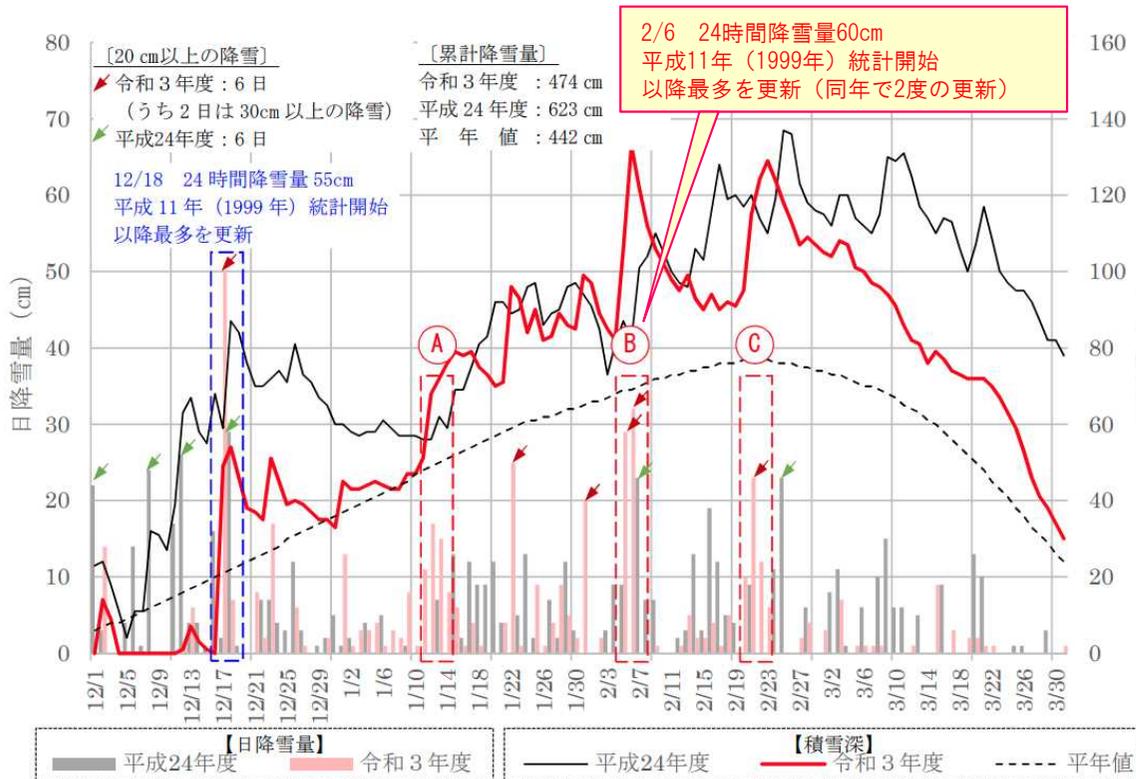
地吹雪による視程障害
(国道232号遠別町) 令和3年2月

1. 北海道における冬期の状況

◆令和3年度 道央圏における冬期の状況

- 令和3年度の冬は、札幌市や近郊地域で大雪が発生、特に1月、2月の降雪量が多かった。
- 警報を伴う3度のまとまった降雪により、市内全域で例年になく特異な気象状況に見舞われた。

- ・ 2月6日の24時間降雪量が平成11年（1999年）統計開始以降最大の60cmを記録。
- ・ また、1月から2月にかけて、短期間にまとまった降雪が続いたことで、例年より積雪が多い状況となり、過去10年で累計降雪量が最も多い平成24年度と同等の非常に厳しい気象状況であった。



【札幌市内：生活道路の状況】



	気象警報	時期	累計降雪量	概況
○	暴風雪	1/12～14	46cm	強風かつ気温が0℃前後の中で湿った重たい降雪
○	大雪	2/6	60cm	風が無い中の乾いた降雪 ※24時間降雪量60cmは、平成11年（1999年）統計開始以降最多を更新
○	暴風雪・大雪	2/21～23	44cm	地吹雪を伴う強風の中での降雪

2. 今冬の取組

◆今冬（令和4年度）の取組

① 除雪体制の確保

- 国道の除雪体制
⇒ 令和4年度 国道の除雪体制を確保
- 広域支援用除雪機械の配備状況
⇒ 小型除雪機(ハンドガイド式)の配備を開始【新規】
自治体への貸出も可能
- 大雪時の道路除排雪に関する協定(北海道開発局・札幌市)
⇒ 札幌市内大雪時の確実な連携【新規】

② 暴風雪時における立ち往生車両発生防止

- 予防的通行規制の実施【継続】
⇒ 数年に一度の猛ふき等が予想される場合において、早い段階で躊躇なく通行止めを実施。集中的な除雪の実施により、早期の交通確保を行う
- 予防的通行規制の実施における関係機関の連携【連携】
⇒ 通行止めを行う行動計画(タイムライン)による連携
- 通行止め時の傷病人の緊急的な搬送【連携】
⇒ 通行止め区間を除雪車等で先導支援を行い、地域住民の安全を確保

③ 立ち往生車両等の迅速な解消に向けた準備

- 災害対策基本法に基づく緊急通行車両の通行確保【継続】
⇒ 大雪に伴う大規模滞留が発生した場合、速やかな道路啓開を実施することにより、消防や救助活動、緊急物資輸送などの災害応急対策、除雪作業が可能
- 中央分離帯の緊急開口【継続】
⇒ 大雪に伴う大規模滞留が発生した場合、中央分離帯の緊急開口を行い車両を誘導することにより、長時間の車両滞留を防ぎ、乗員の生命を確保

④ 防災情報の活用について

- 様々な手段による道路利用者への情報提供【お知らせ】
⇒ 北海道地区道路情報やメール配信サービスなどにより、詳細な通行規制状況を提供することが可能
⇒ SNSの活用やラジオ放送との連携により、幅広い情報提供を実施
- 様々な手段による道路利用者からの情報収集【お願い】
⇒ みちレポや道路緊急ダイヤル(#9910)の活用により、道路の異状等に関する情報の投稿、通報が可能。
頂いた情報を基に、速やかな対応を実施

① 除雪体制の確保

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

◆ 国道の除雪体制

北海道内の直轄国道除雪延長は 6,854km であり、153箇所の除雪基地と1,070台の除雪機械により除雪体制を確保

除雪基地・機械配置状況

除雪延長 6,854km
除雪基地 153箇所
除雪機械 1,070台

建設部別除雪延長及び除雪基地数

() 書は、ダブル区間で外数

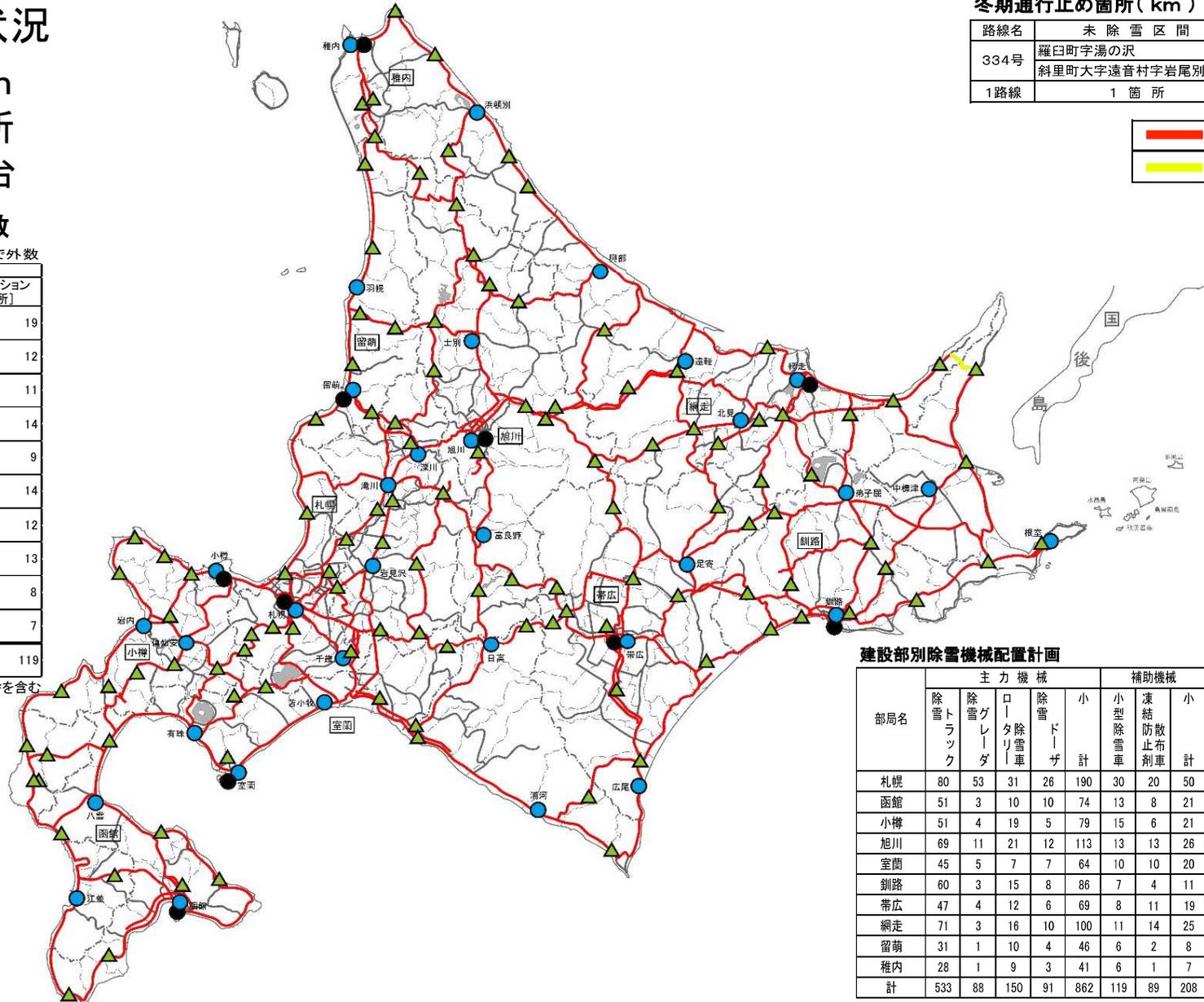
部局名	除雪延長 [m]	基地数 [箇所]	事務所 [箇所]	ステーション [箇所]
札幌	(51,145) 960,586	24	5	19
函館	(86,345) 646,735	15	3	12
小樽	(13,545) 475,386	14	3	11
旭川	(37,180) 723,106	17	3	14
室蘭	(60,170) 643,209	14	5	9
釧路	(30,534) 870,319	18	4	14
帯広	(80,656) 669,276	15	3	12
網走	(19,324) 913,620	17	4	13
留萌	(26,922) 261,621	10	2	8
稚内	(26,155) 257,823	9	2	7
合計	(431,976) 6,421,681	153	34	119

※ステーションには事務所分庁舎を含む

冬期通行止め箇所 (km)

路線名	未除雪区間	延長	備考
334号	羅臼町字湯の沢	23.787	(知床峠)
	斜里町大字遠音村字岩尾別		
1路線	1箇所	23.787	

	除雪区間
	未除雪区間



建設部別除雪機械配置計画

部局名	主力機械				補助機械				その他機械		合計	
	除雪トラック	除雪グレーダ	ロータリー除雪車	除雪ドーザー	小型除雪車	凍結防止布列車	小計	計	パトロール	小計		
札幌	80	53	31	26	190	30	20	50	240	20	20	260
函館	51	3	10	10	74	13	8	21	95	13	13	108
小樽	51	4	19	5	79	15	6	21	100	10	10	110
旭川	69	11	21	12	113	13	13	26	139	18	18	157
室蘭	45	5	7	7	64	10	10	20	84	13	13	97
釧路	60	3	15	8	86	7	4	11	97	19	19	116
帯広	47	4	12	6	69	8	11	19	88	11	11	99
網走	71	3	16	10	100	11	14	25	125	22	22	147
留萌	31	1	10	4	46	6	2	8	54	6	6	60
稚内	28	1	9	3	41	6	1	7	48	6	6	54
計	533	88	150	91	862	119	89	208	1,070	138	138	1,208

【凡例】

● 開発建設部

(除雪基地)

● 開発事務所

● 道路事務所

▲ 除雪ステーション

① 除雪体制の確保

◆ 広域支援用除雪機械の配備状況

- 通常時の除雪に供する除雪機械とは別に、大雪時に広域運用が可能な除雪機械を配備しており、直轄間支援のほか、自治体支援を容易にする体制を確保。
- 道央、道南、道北、道東の災害対策用機械配備拠点（4箇所）と、暴風雪の発生頻度が高い網走・釧路地方を補う、網走を含めた5つの拠点到合計11台の除雪機械を配備。
- 今冬から、全道の道路事務所へ小型除雪機の配備を進め、自治体への貸出を可能とした除雪支援体制を強化【新規】

除雪体制強化に伴う除雪機械の増強台数		
除雪トラック	10t級、6×6、IGSM	5台
除雪グレーダ	4.0m級	1台
ロータリ除雪車	2.2m級	4台
ロータリ除雪車	2.6m級、294kw級	1台
計		11台

(拠点別)

① 札幌開発建設部(道央圏)		
除雪トラック	10t級、6×6、IGSM	1台
除雪グレーダ	4.0m級	1台
ロータリ除雪車	2.2m級	1台

② 函館開発建設部(道南圏)		
除雪トラック	10t級、6×6、IGSM	1台
ロータリ除雪車	2.2m級	1台

③ 旭川開発建設部(道北圏)		
除雪トラック	10t級、6×6、IGSM	1台
ロータリ除雪車	2.2m級	1台

④ 帯広開発建設部(道東圏)		
除雪トラック	10t級、6×6、IGSM	1台
ロータリ除雪車	2.2m級	1台

⑤ 網走開発建設部(網走・釧路地方)		
除雪トラック	10t級、6×6、IGSM	1台
ロータリ除雪車	2.6m級、294kw級	1台

【令和3年度 自治体への除排雪支援】



広域支援車(道北拠点→当別町)の運搬



除排雪の支援(当別町)

【新規】

小型除雪機(ハンドガイド式)の配備

今冬(令和4年度)から、全道の道路事務所へ配備を開始(全道70台)



(写真) 小型除雪機(ハンドガイド式)

令和3年度の短期集中的な豪雪や、「大雪時の道路交通確保対策中間取りまとめ」を踏まえ、小型除雪車等を増強し、地域への無償貸し出し等により、自治体の除雪体制強化の支援を実施。

◆札幌市との道路除排雪に関する協定【新規】

- 北海道開発局と札幌市は、道路除排雪における緊密かつ組織的な連携・協力体制の強化を図り大雪時の対応に備えるため、『**道路除排雪に関する協定**』を令和4年8月2日に締結。
- 北海道開発局・北海道・札幌市・東日本高速道路株式会社が参加する『**冬期道路に関する連絡調整会議**』により平常時からの連携を強化。（令和4年11月7日に設立）
- 『**札幌市内大雪時のタイムライン**』を作成し、大雪時の緊密な連携を確立。

『協定の概要』

(1) 道路除排雪に関する相互協力

- 除排雪作業の進捗状況、雪堆積場等に関する情報を随時共有
- 双方が管理する幹線道路の交差点における除排雪に関する連携
- 河川敷地や公園等の公共用地の柔軟な活用による雪堆積場等の確保に関する連絡・調整
- 雪堆積場の相互利用に関する調整

⇒ 関係機関による連絡調整会議による確認・共有

⇒ 豊平川河川敷地を活用した雪堆積場を3箇所増設・1箇所拡張（合計12箇所開設）を決定

(2) 大雪時における道路除排雪に関する相互協力

- 幹線道路網の機能維持に向けた除排雪作業の実施方針に関する調整
- 河川敷地の雪堆積場の嵩上げ
- 新たに確保した雪堆積場の相互利用に関する調整
- 稼働状況を踏まえた除排雪機械及びダンプトラックの派遣

⇒ 大雪時の協力・応援要請に関するタイムラインを作成

(3) 除排雪作業の効率化に関する相互協力

- 新技術、新たな取組等の情報共有及び推進

⇒ i-Snowプラットフォームの取組で共有



② 暴風雪時における立ち往生車両発生防止

◆ 暴風雪時等、車両の立ち往生を起こさせない事前の通行止め

- 数年に一度の猛ふぶき等が予想される場合は、車両の大規模な立ち往生の発生による通行止めの長期化を防ぐため早い段階で躊躇のない通行止め（予防的通行規制）を実施。
- 通行止め実施後は、集中的な除雪により早期の交通解放を行うことで、住民生活や社会経済活動への影響を少なくすることを目指します。
- 各関係機関は通行止めを行うタイムライン（行動計画）により連携し、速やかな予防的通行規制を実施します。
- 傷病人の搬送等、緊急性の高い場合は自治体等の要請に基づき、通行止め区間の除雪車等での先導支援を行い地域住民の安全を確保します。

■ 通行止め実施時の道路管理者の取組



道路管理者間による合同オンライン会議実施状況

■ 通行止め実施時の支援活動



除雪車による人工透析患者先導（令和4年2月）

（国道39号網走市）人工透析患者の搬送を先導



除雪車による北電作業車先導（令和4年2月）

（国道272号標津町）停電復旧作業のため出動した北海道電力関係車両の先導

③ 立ち往生車両等の迅速な解消に向けた準備

◆ 車両の立ち往生対策（放置車両等の移動、中央分離帯緊急開口）

- **災害対策基本法**に基づき、大規模災害時において緊急車両の通行を確保する必要がある場合には、車両の立ち往生対策として道路管理者が区間を指定し、自ら**放置車両・立ち往生車両等の移動**を行います。
- 必要に応じて、**中央分離帯の緊急開口**による車両誘導を行い、車両の滞留を速やかに解消します。

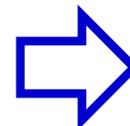
■ 災害対策基本法に基づく車両移動

緊急通行車両の通行を確保する必要がある場合は、災害対策基本法に基づき、道路管理者が区間を指定して、放置車両・立ち往生車両等の移動を行い、道路啓開を迅速に行います。

（法第76条の6）



立ち往生発生状況(国道274号長沼町(H20年2月))



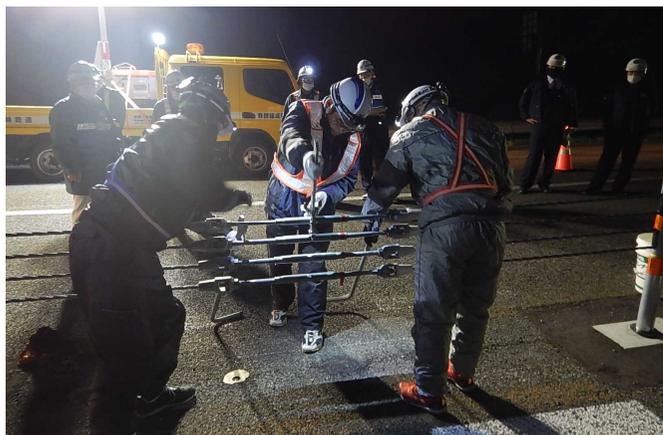
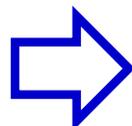
放置車両・立ち往生車両の移動状況（訓練）

■ 中央分離帯緊急開口による車両の滞留解消

立ち往生が発生した場合、中央分離帯緊急開口（ワイヤロープ式防護柵等の撤去）を行い、車両滞留を速やかに解消します。



大規模滞留発生状況(函館・江差自動車道（令和4年2月）



ワイヤロープ式防護柵の撤去状況（訓練）



ワイヤロープ式防護柵の撤去後の転回状況（訓練）

④ 防災情報の活用について

◆北海道地区道路情報（Webページ）による道路情報提供

- 北海道地区道路情報（Webページ）」では北海道内の道路（国道・道道）の通行止め情報や、国道のカメラ画像（5分間隔で更新）等を提供しております。
- また、「メール配信サービス」では、北海道内の国道の通行止め情報を提供しており、配信においては任意での国道路線・区間の絞り込み選択、配信のタイミングを設定することが可能です。

■北海道地区道路情報（Webページ）

▼通行止め情報の提供

地図上で規制箇所を表示



こちらからご覧になれます

<https://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/>



クリックすると通行止め情報の詳細を提供

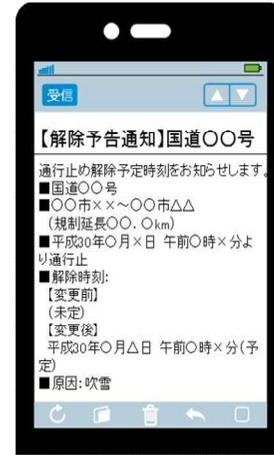
規制箇所ごとに
区間・延長、解除予定日時、迂回路
などの情報表示
[今年度の閲覧者数は約560,000人(令和4年10月現在)]

■メール配信サービス



こちらからご覧になれます

(スマホ)<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/sp/mail.html>
(ケータイ)<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/m/m/mail/index.html>



メール登録者に
・通行止め開始
・解除予告
・解除 の情報を速やかに配信
[登録者数は約28,600人(令和4年10月現在)]

▼国道のカメラ画像提供

路線名：国道39号
名称：石北峠6合目



30分前	15分前	最新	
21時55分更新			
21時50分観測			
気温	-2.0℃	時間雨量	0mm
路温	-0.4℃	積雪深	0cm
風速	4.0m/s		

気象情報も確認できる



・国道カメラ画像を提供
・気象状況や路面状況を
5分間隔で更新のため
リアルタイムに近い状
態が確認可能

《ご利用に際して》
落下物や落石などの安全確保に関わる異常を発見された場合は、
直ちに道路緊急ダイヤル#9910に通報をお願いします。

任意の路線だけ選択できる

パターン1 → 「出発地」と「目的地」で選択

パターン2 → 通行する「峠」で選択

パターン3 → 通行する「国道」と「市町村」で選択

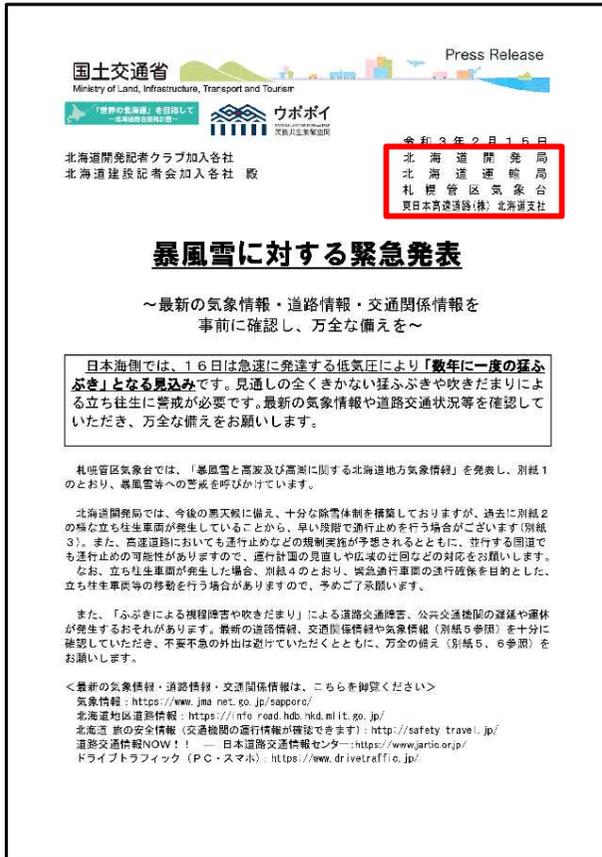
任意のタイミングで配信できる

夜間(22時～翌7時)の配信を停止することが可能

◆ 関係機関と連携した情報提供、SNS、ラジオ放送の活用

- 「数年に一度の猛吹雪」や「記録的な大雪」などの悪天候が予想される場合に、北海道開発局、北海道運輸局、札幌管区気象台及びNEXCO東日本が連携し、注意喚起を目的として、最新の気象情報や立ち往生時の注意点及び通行止めが行われる可能性の高い国道区間などの情報を**緊急的に報道発表**します。
- 通常の報道発表に加えて、繰り返し**SNSやラジオ放送**を活用し、プッシュ型の情報発信を実施します。
- 万が一立ち往生が発生した場合には、定期的に車両滞留の解消状況等を情報提供します。

■ 気象台、運輸局及びNEXCO東日本と連携した緊急発表



国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

ウボボイ

令和3年2月16日

北海道開発局
北海道運輸局
札幌管区気象台
東日本高速道路(株) 北海道支社

暴風雪に対する緊急発表

～最新の気象情報・道路情報・交通関係情報を事前に確認し、万全な備えを～

日本海側では、16日は急速に発達する低気圧により「数年に一度の猛ふぶき」となる見込みです。見通しの全くなりかき吹雪や吹きだまりによる立ち往生に警戒が必要です。最新の気象情報や道路状況等を確認していただき、万全な備えをお願いします。

札幌管区気象台では、「暴風雪と高波及び高潮に関する北海道地方気象情報」を発表し、別紙1のとおり、暴風雪等への警戒を呼びかけています。

北海道開発局では、今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、過去に別紙2の様な立ち往生車両が発生していることから、早い段階で通行止めを行う場合がございます(別紙3)。また、高速道路においても通行止めなどの規制業務が予想されるとともに、通行する国道でも通行止めの可能性がありますので、通行計画の見直しや広域の迂回などの対応をお願いします。なお、立ち往生車両が発生した場合、別紙4のとおり、拠点通行車両の通行確保を目的とした、立ち往生車両等の移動を行う場合がありますので、予めご了承ください。

また、「ふぶきによる視程障害や吹きだまり」による道路交通障害、公共交通機関の遅延や運休が発生するおそれがあります。最新の道路情報、交通関係情報と気象情報(別紙5参照)を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全の備え(別紙6、8参照)をお願いします。

<最新の気象情報・道路情報・交通関係情報は、こちらを御覧ください>

気象情報: <https://www.jma.net.go.jp/sapporo/>
 北海道地区道路情報: <https://info.road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>
 北海道 旅の安全情報(交通機関の運行情報が確認できます): <http://safety.travel.jp/>
 道路交通情報NOW! | 日本道路交通情報センター: <https://www.jarico.or.jp/>
 ドライブトラフィック(P-C-スマート): <https://www.drivetrffic.jp/>

■ SNS(Twitter)による情報提供



国土交通省北海道開発局道路情報

2,910件のツイート

QRコード

国土交通省北海道開発局道路情報

プロフィールを編集

国土交通省北海道開発局道路情報 @hkd_mlit_road

国土交通省北海道開発局が管理する高規格道路、及び国道の異常気象・災害による通行止め情報等を発信します。※本ツイッターアカウントは、情報発信専用としております。※ご意見等は公式Webサイトから投稿いただくようお願いいたします。

こちらからご覧になれます https://twitter.com/hkd_mlit_road

- ・ 国道の通行止め情報や災害情報をツイート
 - ・ 大雪時は外出抑制、立ち往生発生状況等を情報発信
- [フォロワー数は約17,000(令和4年10月現在)]

■ ラジオ放送の活用による情報提供

(公財)日本道路交通情報センター(JARTIC)と連携して「数年に一度の猛吹雪」などの悪天候が予想される場合には、気象情報や注意喚起情報などを繰り返し情報発信します。

▼ ラジオ放送局一覧

- ◆ AM放送
NHK札幌=567kHz NHK帯広=603kHz NHK函館=675kHz NHK釧路=585kHz
HBC=1287kHz STV=1440kHz
- ◆ FM放送
NHK札幌FM=85.2MHz AIR-G'=80.4MHz NORTH WAVE=82.5MHz
HBCワイドFM=91.5MHz STVワイドFM=90.4MHz
- ◆ コミュニティFM
ラジオカロスサッポロ=78.1MHz

■ 情報発信の例

● 外出抑制の注意喚起
「**不要不急の外出**は避けていただくとともに、**万全な備え**をお願いします。」

● 広域迂回、防災行動の注意喚起
「○○は立ち往生の恐れがあります。**比較的**天候が安定している□□への迂回をご検討ください。」

④ 防災情報の活用について

◆ 情報提供のお願い

【みち・レ・ポ】

○『みち・レ・ポ』では北海道「道の駅」デジタルスタンプラリー機能のほか、同サイトから高規格道路や国道の異常気象や災害に伴う通行止め情報等を提供。また、同サイト利用者が発見した道路異状を投稿する機能も備え、迅速な道路維持管理に活用。

【道路緊急ダイヤル#9910】

○道路利用者からの緊急通報を24時間受け付け、道路の穴ぼこ、路肩の崩壊等の道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異状への対応を図り、道路の通行の安全を確保。

【みち・レ・ポ】



道路利用者への提供

電子スタンプラリーを楽しめます

道の駅に行き、「みち・レ・ポ」のマップに表示される「道の駅」のアイコンをタップすることで「道の駅」のスタンプを押印できます。

道の駅の情報簡単に取得できます

イベント開催情報や商品の入荷情報、営業のご案内など、北海道の「道の駅」から発信される情報を簡単に取得することができます。

通行止め情報を簡単に取得できます

北海道開発局が管理する高規格道路、及び国道の異常気象や災害による通行止め情報等を確認できます。

道路利用者からの提供

道路の異状を投稿できます

道路の異状や破損、悪天候によるトラブルなどを発見した際に、投稿フォームにて情報の投稿をお願いします。

道路緊急ダイヤル#9910

道路の異状等を発見した場合に、直接道路管理者に緊急通報が可能。通報を受けた道路管理者は、迅速に道路の異状への対応を図り、道路の通行の安全を確保します。



令和2年11月から試行開始

[登録者数は約24,000人(令和4年10月現在)]



こちらからご覧になれます
<https://michi-repo.com>



○市街地の除雪作業は、快適・安全な朝の通勤通学のために、交通量の少ない深夜から早朝にかけて作業を行いますので、除雪作業に伴う**振動や騒音の発生にご理解をお願いします。**



○路上駐車は、円滑な**除雪作業の妨げ**になりますので、ご遠慮ください。



○車道や歩道への雪出しは、**交通事故の発生や車・歩行者の通行の障害**となる場合がありますので、**自宅内の雪は道路に出さない**でください。



○大型の除雪機械により除雪作業を行うため、玄関前等に一部の雪が残ることがあります。除雪作業後の**残雪処理は、各ご家庭等、ご使用者にて**実施していただくよう、ご協力をお願いします。



○市街地の交差点、郊外部の坂などに**砂箱**を設置しています。路面が凍結している場合などには、**砂まき**にご協力をお願いします。

